



港工同窓会 ニュース

第8号

平成21年4月20日発行

発行責任者 前田武男

二十一年度定期総会開催にあたって

港工同窓会会長

港3期(全)電力科 前田武男

昭和23年4月高輪・麻布・渋谷の3工業学校が統合し、東京都立港工業新制高等学校として発足致しました。

同窓会は昭和26年頃、旧制高校同窓会と一本化し「港工同窓会」として初回総会が開催されたようです。

しかし昭和36年頃から活動がぶりだし、やがて定期総会も開催不可能となりました。

その後、平成元年度再建のはこびとなり、大手町のサンケイホールで再建総会が開催され、現在に至っております。

「水の流れば細くともとどまることなければ濁らず、また人を得れば大河となることもありうる。が、ひとたび停滞するならば、流れの方向も定まらず、新しく流れの道を作らねばなるまい」と初代同窓会長久保田鉦雄氏が母校20周年記念誌に書かれております。

少しは初代会長の意志を継ぐことができたかなと思っております。

さて、港工同窓会は再建以来、昨年やっと成人式を迎えることが出来ました。

これもみな、会員皆様の多大なご協力のお陰と感謝致しております。

振り返ってみますと、色々なことがありましたが、私にとっては永くもあり、又短くもありました。

その中で特に残念なことは、母校が廃校になったことでした。幸い、校舎は解体されることなく原状のまま警察関係で使用されているようです。

私も喜寿(77歳)を迎え、そろそろ引退を考えておりましたが、亡く

なられた会員の奥様や、お母様からの励ましのお言葉や会費をいただく、もう少しがんばってみようかなと思ふ今日此の頃です。

今後とも会員皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

◆平成21年度定期総会

今年度の定期総会は、六郷工科高校で総会、昨年好評でした老舗割烹牡丹で懇親会を開催します。同級生やクラブの先輩、後輩等お誘い合わせの上ご参加されますようご案内申し上げます。

日時 平成21年6月27日(土) 13時より

(幹事の方は12時までに集合下さい)

場所 総会 六郷工科高校 2階大会議室にて 13時より

(京浜急行「雑色」下車徒歩3分)

懇親会 芝浦割烹「牡丹」にて 15時より

(都営地下鉄「三田」、JR「田町」徒歩5分)

会費 10,000円(総会のみの方は無料です)

内容 平成20年度事業・決算報告、新役員承認

平成21年度事業計画・予算案の承認・その他

※会費は同封の郵便払込用紙の金額を賛助金共12,000円に

訂正し郵便局にて事前払込をお願いします(ATM可)

※準備の都合上、6月20日までに同封はがきで出欠等返信をお願いします。

※総会会場の都合で第4土曜日に変更しましたのでご注意ください。

い。

工学科の取り組み

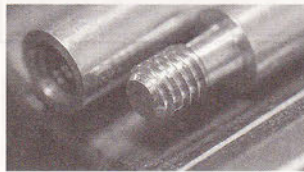
東京都立六郷工科高等学校
プロダクト工学科 高橋 徹

平成二十年度より新たな取り組みとして、教育委員会の「実業意欲向上プログラム」があげられます。生産・販売実施による生徒のものづくり意識や実業感覚の向上や生産校との連会販売実施による社会の即戦力となる人材育成を目的とした内容となっている。

六郷工科高校では現在「六郷箸」と「六郷燵」を製作している。六郷箸製作に当たり携帯箸の構造等についてリサーチし以下のような項目で検討した。

1. 材質
2. 長さ
3. 結合部の構造
4. 重量

素材として木、金属などが利用されており、結合部は差し込み式、ネジ式で長さは携帯のしやすさ、使用時の持ちやすさなど全長200mm

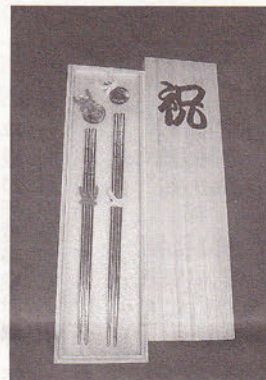


程度、が平均的数値だった。試作として箸箸を加工したりステンレスを加工したりと試行錯誤を繰り返した。木(竹)材質のネジ部加工の難しさや、ステンレスの材質による重量など問題点等があった。結論として材質をジュラルミン、長さ193mm、結合部はネジ式とした。作業工程は一膳製作するのに四十四工程におよぶ。また、特注品としてお祝い用に上部に装飾加工を施し桐箱に入れた物なども製作した。

生徒は基準面や寸法あわせなどを専門に行っている。現在、生徒は少しずつ製作方法のノウハウを受け継



ぎ放課後に活動を開始している。また、足立特別支援学校とのコラボレーションとして箸袋の製作に携わっていたが、セット販売をしている。特別支援学校のイベントで三十膳アツという間に完売するほどの大人気であった。



六郷工科オリジナルの「六郷燵」は、レーザー加工機を利用し市販のキャンプやバーベキューなどで使用されている薫製器を参考に試作した。組み立てても板を差し込んで組み立てをする構造とし洗いやすく衛生的なことや、熱が加わるので変形、



変色が少なくなるよう鋼板にも工夫をした。チーズやソーセージなど試したところ、とても美味しくできあがった。

これからの職業高校に求められていることは自分たちが作った製品が社会で使ってもらえるといった自信や製作に関する創意工夫を養っていきけること、進路活動につなげていけるなど今までにない形になろうとしている。これからも六郷工科高校を工業の先輩としてご支援をよろしくお願いたします。

第5回六郷祭に参加して

港(全)6期P 龍 健治

地球規模を通り越して太陽系一楽しい文化祭「天翔」をテーマにした六郷祭は、平成20年11月15、16日盛大に開催された。

内容は、年々充実し展示品の配色や、置き方を工夫して、各学科・クラブが競い、アトラクション等は、特に前回より、バラエティに富み、来訪者も多く生徒と楽しんでた。

『お茶の世界へようこそ』茶道部の人気も高かった様子でした。

港工同窓会ブースも前回と同様、部屋の中央を喫茶店風にして、周囲には、思い出の新聞を紹介、懇親会



等今日に至るまでの様子を写真等で展示した。

人気だった昔のアルバムと、新たに9名の方の住所がわかり、成果があったのではと思う。

屋外での沖縄の盆踊り「エイサー」をアレンジした演技は、校門玄関前横で行われ、観客で埋まり盛大だった。

毎年六郷祭に参加して心に残るのが2つある。1つは、生徒が私の目を見るなり「こんにちは」と挨拶してくれること、他の人にも気軽に挨拶している、その日気分がとてもよかった、続けてほしいと思った。2



つ目は、展示品全体が丁寧に仕上がっていること、特にデザイン科の作品では、しばらく足を止めて見てしまった。
今回もデュアルシステム科の企業での実習写真、作業日誌、作品の展示を見ることにした。生徒の真剣な作業ぶりを見ると、関係する先生方の精力的な取り組みが目に浮かぶようだった、さらに発展することを願って、再び生徒の作品を見て回った。
港工同窓会々員の皆様、ぜひ六郷祭に来校され、時代の流れを、学校の新しいシステムや設備、生徒の作品から感じ取って見てはと思います。

また、思い出話で笑談されるのも大歓迎です。港工同窓会ブースに、次回も多くの方が来て下さるようお願いするとともに、再会を楽しみにしています。



平成20年度定期総会

恩師出席予定

工藤 邦敏(教頭) 定

※現六郷工科高等学校校長

小笠原 将幸(体育) 全

杉野 栄一(自動車) 全

西原 要四郎(教務) 定

広橋 恭二郎(電気) 全

堀場 靖久(理助) 全

本杉 不二夫(電子) 全

両角 亮一(数学) 全

敬称略

恩師 計報

早坂 利光(電子) 定

洞毛 義弘(電子) 全

渡部 幸雄(社会) 全

宮沢 一雄(機械) 定

前川 安男(数学) 定

ご冥福をお祈り申し上げます

20周年記念総会を終りこめて

会計理事 旧職員 港(全)3期P 加藤 琢二

ほぼ半年掛りの理事会で延々と準備を重ねた、「再建以後20周年記念総会」は特別会員の先生方、正会員の皆様方のご参加をいただき、無事終わることが出来ました。有難うございました。

総会は、六郷工科高等学校を会場とし、同校工藤邦敏校長先生のご来臨を賜り、ご挨拶をいただきました。先生は母校港工業高等学校定時制に平成9年～11年に教頭先生として在任されました。港工同窓会の活動も、何かとご指導ご鞭撻いただけると期待申し上げます。

会議は用意された議事を全て承認され予定通り終了し、会場を芝浦田町の「牡丹」に移し、懇親会を挙行しました。老舗の割烹での懇親会は初めてのことで、やや準備に至らない点もありましたが、盛大に行われました。

特筆すべきは、第36期C卒の前田知洋君が多忙な中参加され、鮮やかなマジックを披露、懇親会に華を添えてくれたことでした。前田会長の愛息であることに甘え、いまや国際的大スターにランクされている彼に

お願いしてのこと、お礼のしようが見つかりません。ただ、感謝するのみです。

次に、歴代の校長先生方をはじめ諸先生方の変わらぬご臨席は、会員の中に在校中の様々な思い出を呼び覚ましたようでした。真に有難いご配慮でした。有難うございました。会場の形式が何時もの様には動き難いのが、少々惜しまれるところかと感じました。会を盛り上げる為にもまたのご来臨を願っております。懐かしい校歌、「愛宕の緑」を合掌してお開きになりました。

総会を無事終えたことは、会長ならびに松岡君をはじめとする理事諸君の重ねた運営努力に会員諸君の協力を得た結果だと信じます。来賓の和泉勲元校長先生のご祝辞にあったように、母校を失った我々が同窓会活動を存続してゆくのは並大抵のことではありません。理事の皆さん、会員諸君に見放されないよう、一段の努力を重ねてゆきましょう。後期高齢者としては、どの程度お役にたてるか、心もとない私ですが、奮起したいと願っております。

■寄稿文■
カラスの集まり

港(全)4期E2 淡路 俣男

学校を卒業して、つらつら考えるとなんと50年余、昔であれば人生50年を過ぎたことになるわけである。卒業後数年はクラス会を行っていたが、それぞれ会社人間となり、交際範囲が多くなるとともに住居も変わってくることもあり、だんだん連絡が取れなくなり、行えなくなりました。しかし10人程度は連絡が取れるので1～2ヶ月に1回程度は、新橋の烏森口に集まり、都合のつく者のみ集まり酒を飲み交わし旧交を暖めていく次第である。たまには1泊温泉旅行を行っていたことがある。

この仲間を新橋の烏森口に集まることで誰いうことなく「カラスの集まり」と称している。この仲間も後期高齢者となったが、考えてみると50年余の付き合いになるわけである。とにかく「おい」「お前」の仲間で、現役中でも本音が言える仲間であった。これからも元気でやる限り、続けていきたいと思う。

個人的なことであるが、会社を卒業してまもなく私の住む佐倉市の市

民カレッジに入学した。4年制で、2年間は「であい課程」、あとの2年間は「専攻課程」コースで、ふるさと歴史、さわやか情報、さわやか元気、あったか福祉と4コースあった。私は地元のことをもつと知ろうということで歴史コースを選択した。このカレッジに入学したお陰で、会社人間で地元のこととはよく分からず、付き合いも無かった、地元のこととがいろいろ分かり、なんと言っても同年代の地元の男女の友達が出来たことは大きな財産である。卒業後10年になるが、今でも付き合い合っている。もう一つ大事にしている会は「佐倉自然同好会」である。会員は150名程度である。キャッチフレーズが、見て、聞いて、触れて、そして大切に！で自然を愛し、自然と人間が共存する社会を目指そうと佐倉市、八千代市を中心に活動している。興味のある方はホームページを作成しているので見て下さい。

アドレス <http://kawasaninaw>Cocolog-nifty.com

これからも地域を大切にして付き合い合っていきたいと思う。

クラス会たより

旧職員(社会) 全 山本 敏昭

開催日時 平成21年4月5日

開催場所 ホテルエルシー(町田市)

参加者数 20名

30Aのクラス会

昭和53年卒(第30回) 自動車科、山本担任のクラス会を盛大にひらき、2次会、3次会と集まった20名が久しぶりに会い、語り合いました。(山本先生は2・3次会は欠)

港(全) 10期E2 牧野 和男

当日(H20・6・14)は例年通りクラス会があるので懇親会には出席出来ませんが、総会には是非参加して他コースの方と親交をと思っています。

港(全) 12期M 中山 滋

6/8(H20)に港工32Mのクラス会を実施。出席者12名。恩師夫人増日早波さんを招待しました。

港(全) 14期C 金子 紀夫

今年も6月に昨年と同じ場所で開催しました。

港(全) 24期C 武江 弘

20年4月にクラス会を開きました。連絡が取れない方が増えています。

港(定) 9期C 佐田 一郎

開催日時 平成20年10月15、16日

開催場所 長野白樺湖ビューホテル

参加者数 11名

さらに想いは新たに

もう1年経ったのだからなつかしい思い出といっても良いのでは、昨年心はずませて仲間と会った新宿工学院大学協のバス停に今年もまた集まった。誰しもが変化を求めながら変化のないことを求めていることは皆な同じであった。

朝8時30分、11名の仲間が集合。

目指すは長野のほぼ中央といってもよいでしょう、あのさわやかな白樺高原に面した、かつてはスキーヤーならば一度は出掛けたことがあると思う湖畔の宿、白樺湖ビューホテルへと向かった。道路の具合も非常によく満足のゆくスピードで目的地を目指した。相変わらずの1年。ためにためた思いをはきだすかのよう

に友と語り合つて車を過ぎた。何年経つても、あの4年間のきずなと思ひ出は消そうにも消せないものでいっぱいです。そして夕食の団欒に思う存分語り合ったが、それでもものたりない思いが。翌朝食事をすませると記念写真をパチリ、パチリと、そして、ボール打ちに興ずる人、のんびりとする人、そして白樺湖一周に挑戦する人、そ

港(全) 10期E2 森田 貞雄

開催日時 平成20年8月24日

開催場所 東急イン(大森駅そば)

参加者数 14名

港工業33回同窓会

私としては昨年度が悪く出席できず、2年ぶりの同窓会出席となりました。電気、機械、通信のメンバーが集まりましたが久しぶりに皆さんの元気な姿に接することが出来、楽しい一時を過ごすことが出来ました。

残念だったのは、いつも出席するメンバーの内2人が体調を崩して出席できなかったことです。また出席予定の高橋先生も直前で体調をくずし欠席となりました。入院中の1人は、奥さん、息子さん、お孫さんにつきそわれ、何としても顔だけは出したいたとかけつけてくれました。70才にもなると体調をくずす方も出てくるので、今後この会を継続するかどうかも話し合いましたが、やめようと言う人は1人もいなかったの

で、今後も続けることになりました。お互い健康に気をつけて1年後また元気で会うことを約束し、散会しました。

返信はがきからの近況・想い出(特別会員)

旧(第10代校長) 村上 五雄
港工高の同窓会が再建された後に、母校閉校という難関を突破して着実に発展充実しておられることに敬意を表する次第です。

旧(第15代校長) 小山 実
港工の後、小金井工高3年、そして今、蔵前工高3年目の校長を勤めています。私も今年度で退職となります。

旧(教頭)定 三谷 和夫
健康ですが老化中です。

短歌(新アララギ)「我孫子の歴史を樂しむ講座」8回進行中、低山登り(伊吹山・...)先祖書づくり、せかせかやっています。

旧(教頭)定 石井 良治
定時制の給食は栄養士さんの努力で抜群の内容だった。

旧(教頭)定 市川 勝緒
当時の生徒諸君や先生方の顔が思い出されます。最近5時に目覚時計とともに起床、好天なら散歩です。余暇はこりずに専門書を読みふけて過ごしております。

旧(教頭)全 相川 英昭
港工を定年退職して、もう6年になります。身内の保育と介護で足早に日々が過ぎていきます。

旧(事務長)全 石田 昭宣
港工には昭和40〜47年までお世話になりました。

①学校の隣接地区の買収の時、地権者の方と夜遅くまで話し合いをしたこと。

②学校紛争の頃、伴校長。新井田教頭先生等と給食室に泊まったこと。
③富津の海の家のことなど。
様々な事が思い出されます。

旧(電気)全 山田 信幸
元気です。今年、傘寿を迎えます。最近、故六平先生の「シルバールネ」を再読しています。S30年時代の先生の苦労が偲ばれます。

旧(数学)定 岩瀬 重雄
学校近くの愛宕山に登ったことと、東京タワーを教室の窓の外にみたことを思い出します。

旧(電子)全 片山 茂
今は何の思い出もない。

旧(理科)全 渡邊 國男
昭和25年9月から20年近く、東京タワーが2階の理科実験室から、ああ！あそこまで出来たか、と眺めながら生徒と一緒に過ぎた日々が思い出されます。今から思えば幼稚な授業だったが、精一杯指導にあたった。水素爆発・硫酸事故、生徒をつれて隣の慈恵医大に駆けつけた思い出。なつかしい。

旧(数学)全 岩下 政行
週3日講師をしております。このようなご連絡をいただく度に、40数年前のあのびのびした時代を思い出します。

旧(英語)全 田島 貞雄

男子校にしては暴力沙汰の無い高校だった。ただし、昭和31年の頃、1度だけ、しゅつたいしたことがあった。上級生が、わが単年生を殴打した。被害者は無抵抗のまま階段でダウンした。もし加害者が、下級生の隠れ副業を予知していたら、尻に帆をかけていただろう。卒業後、彼は正式にプロボクサーとしてデビューした。数年後に全日本バンタム級チャンピオンの座を駆け登った。それどころか、その1、2年後には、東洋同級チャンピオンの王座に君臨していた。彼は今定めし、階段でダウ

ンした屈辱をバネにして手にした栄光の来し方をひとり照れ笑いでいることであろう。

旧(英語)全 甲斐 徳隆
都立の良さがまだ残っていたよき時期にわずか4年間でしたが個性豊かな先生方と共に働くことが出来て仕合せでした。今、大学で非常勤講師として週2日出向しています。

旧(司書)全 岩城 芳子

過日虎ノ門方面に行った折、旧港工業高校へ寄ってみました。プールの脇に、学校祭か運動会の折に使用した大きな板に描いた絵が立てかけてあり、なつかしく眺めてきました。

旧(体育)全 小川 幸吉

3月31日を持って定年退職を致しました。再任用(フルタイム)で現小平西高に勤務しております。

旧(国語)全 花田 恵子

時折なつかしく思い出しておりますが、何分多忙でなかなか伺えません。

旧(電気)全 小又 良一

懐かしい思い出ばかりです。トンネル出口の近くに昔ペット屋があり、私は栄養不足か、病気が、死にかけて、歩くことも出来ない黒猫を買っ

て帰ったことがあります。その猫は何と永く生きのび、20才で亡くなりました。しかし、何かその猫に恩返しをされているようなことがよく起り、先日も交通事故で跳ね飛ばされたのですが命拾いをしました。これも港工にまつわる縁かもしれません。

旧(機械) 定 三津田 宏

東京港区愛宕山の下の港工高(定)に、新任の教師として赴任したときの緊張感を思い出します。大学で機械工学を学びましたが、現場の経験がなく、苦労しました。工場で働く生徒諸君から多くのことを教えてもらいながら教師になっていきました。

旧(英語) 全 久保田 省吾

現在、日刊工業新聞社で元気にやっています。

旧(国語) 全 矢部 玲子

昭和から平成にかけて、3年ほどの勤務でしたが、楽しい思い出がいっぱいでした。現在は家族の任地、札幌で大学講師を務めています。北海道への進学お待ちしています。

旧(数学) 全 栗原 幸一

平成21年4月から駒場高校に移動しました。

旧(数学) 全 田神 仁

港工の10年間で学ばせていただいたことを、現在の業務(都立杉並工業高校長)に生かしています。

旧(数学) 全 両角 亮一

赴任当時は教室から東京タワーが見えました。会議は3階の奥の教室で行ったと思いますが、冬の夕暮れ、展望台へと昇降するエレベーターの明かりをながめていた記憶があります。その東京タワーも役目を終えようとしており、寂しい限りです。

旧(機械) 全 高橋 徹

平成5年から10年迄嘱託員として主に自動車科の流体実習を受け持ちました。自動車の圧力分布の作成など生徒諸君は意欲的に取り組んでいたのが印象的です。製造業が大不況の昨今、頑張ってください。

旧(電子) 全 南澤 晴夫

国分寺駅南口の「囲碁茶房・信濃」で席亭などしていますので近くに来られたらぜひ寄ってください。南口前の交番で聞けば2分で来れます。

旧(英語) 全 佐藤 芳教

現在、都立国際高校に勤務しております。

旧(社会) 全 藤井 恵子

自分の教員としての土台を築かせていただいた港工、多くの方々への思い出とともに忘れることは出来ません。懐かしいです。

旧(事務) 全 直井 功子

迷路のような港工業の校舎と、狭い敷地をなつかしく思い出します。現在品川区内の小学校に勤務していますが、港工業ほど狭くはありません。大きい体の生徒達が、狭い教室で授業を受ける姿が目につかびます。

旧(機械) 定 福富 千明

会報の一読がたのしみです。

旧(電気) 全 仙田 恒夫

S51年に32才で荒工(定)より異動、港工に勤めましたが、子供を保育園に預けながら、多くの先生方、生徒にも多大なご迷惑をおかけ致しました。H元年3月に小石川工へ異動となりました。H11年55才となりましたが、10年後のH11年55才で再び港工勤務となり、H16年3月港工閉校と同時に定年となるなど、私にとって思い出多い港工でした。

旧(電子) 全 本杉 不二夫

上池袋のマンシヨンの管理人をしています。港工高の最後に私も定年でした。思い出は多く残っています。

これからの日本の工業技術の進展が心配です。港工高は最高です。

旧(電子) 全 三浦 達郎

港工の閉校に伴い、王子工に異動しましたが、王子工も、この3月に閉校しました。4月より北豊島工に勤務しています。工業高校が少なくなっていくのは寂しいかぎりです。

旧(国語) 全 川田 裕美子

港工業が閉校になり、六郷工科に生まれ変わって5年です。ね、閉校式典まで見守った職員としては感慨ひとしおです。

旧(事務) 全 瀬戸山喜陽子

港工業高校には閉校前の2年間しかおりませんでしたが、初めての工業高校勤務でした。工業高校の先生方は総じて体を動かすことをいとわず、気さくな先生が多かったなと思っています。

(敬称略)

※紙面の都合上、欠席文・激励文の箇所は割愛させて頂きましたのでご了承方お願いします。

※この他に多数の激励文を戴きました。お礼申し上げます。

返信はがきからの近況・想い出(正会員) 20年度

高輪(二本) 5期E 西本 保
卒業して62年を経て同級の友も少なくなり時折10〜15名位集まって思い出を語っています。

高輪(一本) 7期E 4山風呂 洋
三校合併以来故六平先生に師事し、

多くの事を教えてもらいました。高輪校舎からの移転・テニス部の創設・クラス誌の発行など戦後の混乱期の中で学校生活を楽しめた事は強い思い出となっています。

高輪(二本) 4期E 小暮 喜美雄
港工同窓会通知は平成6年に初受理、その時5名同級生が参加。同年その輪を広げて10名出席の夕食会を持ったがそのメンバーも約50%が他界。私は大正12年生生まれの85歳。最近とくに昔の陸軍戦友仲間を含めて訃報の多発が気になる。そろそろ順番が来るかも知れず身辺整理の必要を感じています。

高輪(二本) 10期M 野田 直嗣
傘寿になります。話題新刊本をインターネットで検索、地元の図書館に散歩がわりに歩いて借りてきて読書三昧しています。

麻布(一本) 7期E 板尾 勇

戦争中、最後の卒業生です。麻布が3月9日の夜焼失しました。私の家も同日焼失しました。麻布は、B29最終便の1機の焼夷弾なので、江東工のように亡くなった人は少なかったです。おかげさまで、未だ生きております。

港(全) 2期C 中村 俊比古

戦中の入学、学校も統合、校舎の異動、芝高輪から港区への引越、自分の机・椅子を持って歩いて運んだものです。校舎も元小学校のあと、新制中学校との同居、何から何まで現在の六郷と比べる余地がなく、又戦中の教育には今の人達に話しても信じられず経験できないでしょう。今となると良しも悪しくも想い出と成って強く残っています。

港(全) 3期M 坂巻 俊幸

H16・17と定期総会に出席しましたが、新六郷工科高校の素晴らしい設備に我々の時と隔世の感がありました。

港(全) 3期A 波多野 稔

同窓会の時期が来るといつも思い出

されるのは・満員電車の通学・さつま芋の弁当・宮城前広場での野球・日比谷公会堂の無料試写映画・S20・5・25(高輪工1年生)の東京大空襲など多々あり、私の青春時代にとっては港高工時代に重なる1ページです。

ところで私が関係している中小企業に六郷工科の2年生がデュアルシステムで実習に2週間来社(1名) 昔日の感と若いときの自分を見ているようだった。

港(全) 4期E 羽根 高広

社会科の玉井先生、英語の六平先生、物理の田実先生、担任の片山先生、次々に浮かぶなつかしいお顔。在学中には下山事件、三鷹事件、共産党非合法など社会的に大きな事があった。また食糧難で外食券食堂があり、何時も腹を減らし、コッパンが贅沢品だった。空腹ながらも片岡君がリーダーをしていたコーラス部でロシア民謡を唸っていた。

港(全) 4期C 阿部 武

学校からの紹介での就職先が西六郷でした。国道添いの製パン所は付近にある多数の取引先訪問時たびたび見ていた所です。今でも京浜急行通勤で窓から少し見ることが出来ます。

校名は違っておりますが、根は同じと思うとなつかしさがこみあげてきます。ともかくこの同窓会の継続は好ましい限りです。

港(全) 5期C 佐藤 定美

屋上から勝鬃橋が上がって居たのを覚えて居ます。

港(定) 5期C 鈴木 言而

私は卒業以来通信技術を持って、世界に雄飛してまいりました。西廻り世界一周も達成して、現在は日本に居ます。

港(全) 8期M 前田 武弘

我が家は自営業で金属機械加工をやっている、現在70才でまだ現役で仕事をしています。中学生の頃から学校から帰ると家業を手伝い、55年も働いています。だから機械科の実習は得意で大好きな時間でした。部活は音楽部でコーラスをやっていました。今でも合唱団で年末の第九を歌うのが楽しみです。

港(全) 8期E 田畑 隆春

小澤先生のクラスでした。全員すでに古稀を越えたと思います！ 思い出：たくさん書き切れません。努力することを先生に教わりました！ 守ったつもりです。

港(全) 9期M 栗田 哲夫

「金子鉄雄先生の思い出」学級担任としてお世話になった先生の渾名は下駄さん。ひげが濃く角ばった顔である。私が水車メーカーに就職後3年程して先生が突然職場に訪ねてこられた。卒業生の素行調べかと思っただけのこと。自分の職場で先生といろいろな話ができたことは一生の思い出である。先生の訃報を知ったのは、それから数年後であった。奥様のお話によると何の前兆もなく、就寝中の心臓発作とのこと。教育者として力強く歩まれていたのに、若くして逝かれたことは無念でならない。恩師のご冥福を祈る。

港(全) 10期M 下田 雄三

私たちが1年生のとき全校駅伝大会がはじまり、1、2年のとき連続優勝、3年のときは準優勝。3年連続優勝は逃したが、選手10人を全クラスで応援、クラスのまとまりを見せた楽しい行事であった。当時の1人は未だフルマソンなど挑戦しつづけ、私もジョギングは続けている。

港(全) 10期E2 佐藤 弘司

我々10期生は卒業して50年になり、感無量です。母校港工業高校の校名はなくなりましたが、クラス会で3年間担任をされ、お世話に

なつた田島先生とお会いし、またクラスの皆と語り合うことが一番の楽しみです。また、3年間、目黒駅から都電の5番に乗り、御成門まで通学した思い出があります。毎日、東洋英和・戸板東京女子・城南高校・三田高校の女学生と会うのが楽しみです。T定規をかっ

いで。

港(定) 10期M 酒井 邦明

部活で愛宕山の石段の昇り下りには苦勞しました。昇りの時は、後ろに引かれるような気がしましたね。

港(定) 12期C 佐藤 興八

夜間照明での、校内水泳大会で、水を飲み乍ら頑張ったことなどを思い出します。

港(全) 13期A 富山 佑二郎

図書室で夜、本の整理をしながら、窓から見える「東京タワー」の建設照明の平和さと、テレビニュースの「60年安保闘争」の激しさを見、平和への願いを感じた時代でした。

港(全) 14期E2 大海 隆

同窓会ニュースを拝読、懐かしい名前と近況を見て、うれしく思ったり、寂しく思ったり。私は元気です。

港(全) 16期A 中村 逸郎

今も心に残っているのは、3年生の学校祭の時です。演劇部員も少なく、公演できないのではと危惧していた時、クラスのみんなが手伝ってくれました。と言うよりか主になって活動してくれました。舞台へ上がるのはいやだから照明係りをやるよ、と泣かせるやつ。いろいろと個性を發揮しながら困難なことを乗り越え、公演も無事に終わりました。終わつた時の皆の笑顔、達成感にあふれた顔、ただただ感謝するのみでした。爺さんになっても皆に会えば青春そのものです。

港(全) 17期M 森 茂昭

還暦を過ぎ今年で62歳(H20)になります。港工業高等学校柔道部。屋上にあつた部屋を思い出します。芝商業高校との対抗試合で右足を骨折して、松葉杖で修学旅行に参加し、同級生にお世話になったことが思い出されます。

港(全) 18期E2 波多野 英治

(旧姓) 岩崎英治、水泳部。自動車科のメンバーとバンドを組んでパーティーをよくやったのを思い出します。オヤジバンドが話題になっていますが、機会があつたらやりたいと思う今日この頃です。

港(定) 46期E 雨宮 美津子

夏の夜、ライトのまわりにコウモリが飛ぶ中こわごわプールに入り、水泳の授業を受けたのをふと思い出しました。

港(全) 48期E 佐藤 俊英

僕は三田に住んでいるため、今でも港高工の前を通ります。青松寺や愛宕神社を散歩していると、学生時代夏休みにテニス部で皆と楽しく過ごしたことを思い出します。

港(定) 51期E 中山 篤

高校生活4年は、とても勉強になった貴重な時間でした。

港(全) 53期M 杉本 勇一

旧校舎は警視庁が使っているそうです。その後何かの役にと残しておくことはできないものでせうか。部活動帰りの西新橋は懐かしく決して忘れぬ青春です。

港(定) 55期E 名倉 道夫

私は平成11年3月にNITTを退職し定時に入学した者です。廃止になる最後で運が良かったと思つています。

(敬称略)

※この他に多数の激励文を戴きました。お礼申し上げます。

「20周年記念誌より」
最大の心残り

港(主)3期A 三宅 晃

私は戦後高輪工の併設中に入り、やがて港工業高校となってその自動車課程を昭和26年3月に卒業した。今から考えるとそのころの学校生活は、戦後の混乱期のためとはいえず、随分貧弱なものであったように思う。さて何かこうとするとほとんど記憶が薄れてしまっているのに気がついた。なるほど、やはり時がたったんだな、と改めて感慨を深くせざるを得ない。

私が港にいた間、多少熱を入れてやったことといえば図書館と自動車のことである。当時これはどちらも創設の期にあり、ほとんど無から出発したような状態でそれだけに作り出す面白さがあった。

図書館では棚橋、金子、宮本の諸先生、自動車では明石先生の各ご指導のもとに、委員諸君やクラスメートの有志といっしょに、何回となく夜遅くまであるいは日曜日も出てきて仕事をすることもあった。私と図書館とのつき合いは併設中学時代からで、そのころは職員室の一隅の書架に何冊かの本がある、という程度であったが、何とかこれを育てて大きくしたいという気持ちは強く、同

好の士を集め若き棚橋先生とともに張り切っていた。「輪苑」というガリ版新聞を発行したのもこのころ。これは後に港工高に移ってからは、ライブラリーニュースにひきつがれた。港に入ってから図書館委員の一人として(委員といってもそのころはクラブ組織であったと思う)先輩たちと図書館作りにつとめ、3階の小教室にそれが開設されたのはたしか2年のときである。そして翌年に隣の大教室に移動し、常時開館と図書貸し出しという本格的な運営に進んだ。この間、図書の増備、独自の十進法分類表の完成、機関誌の発行、その他レコードコンサートのよくな文化的な活動など、何も知らずによくいろんなことをやったものだと思う。盲蛇に怖じずとはこのことであろうか、とにかく図書委員が非常に張り切って図書館作りとその運営に努力したことはたしかである。

これに反して、港での自動車とのつき合いは、ほとんど3年のときに集中されたようだ。私は港へは機械科として入学したが、それが機械工と自動車との両課程に分かれたのは2年になるときだったと思う。それに伴って機械課を2クラスに再編されることになったが、どちらを選ぶかは希望をとって行われた。どちらでもいいというような考えの者が多かったので、私を含む二、三の悪者がAコース(自動車課程)はK先生の担任である、と吹聴して同志を集めたところ、実はK先生はMコース(機械工作課程)だったので大いにみんなの憤激をかった。ところで当時は自動車課程といっても自動車などあるわけがなく、整備の設備どころか工具すら何もなかった。つまり、自動車のことは座学で明石先生の講義を受けるだけで、実習は全くMコースと同じだったのである。それでも翌年の学校祭で学校開放が行われたときには6気筒のガソリン機関が2台あり、これに木製の大きな架台を作って2階の教室に運び上げ、マフラーもなしに運転したりした。このときの学校祭は私たちが自動車課程に入って初めて自動車科らしい仕事に取り組んだことでもあり、みんな大いに頑張ったもので、とくにその準備期間のことがいまでもなかなかしく思い出される。たとえば、とくにエンジンの好きな連中(というよりは物好きな奴というべきかも知れないが)は毎日のように夜遅くまで油にまみれて整備をし、あるときは排気管をつけずに始動したところ床上の容器に入っていたガソリンに引火して燃えあがり、あわててこれをたたき消すなど、居残っておられたK先生のどきもぬくようなこと

もあった。当時、新築の木造であり、今考えると冷汗ものである。3年も終りに近くなつて、明石先生のご努力でフォードのクラシックカーを貰い受ける話が始まり、これを取りに行くことになった。初めての自動車でもあり、それというわけで皆授業のあるにもかかわらず出かけてしまい、担任のI先生が大いにごきげん斜めになったりした。タイヤがないたためトラックではこんで来たが、それからが大変である。さびついたエンジンをおろすのは丸太棒にロープをかけて屈強な男がかつくしまつた。しかし、何とか動かしてみたいというわけでこれまた熱心なのが毎日取つくんだ。エンジンを分解したところピストンが1ついかれていて、何しろ古い車なのでパーツ屋をさがしたけれど売っていない。ようやく増寸のならば1つだけあるというのを買ってきて旋盤にかけ、やすりとペーパーでこすり落とすはめりた。これは結局卒業式の前日までやったがとうとう動かず、卒業時の最大の心残りであったが、その後つぎの人たちの手でりっぱに整備され、走るようになった。

現在の鉄骨工場、優秀な設備、充実した内容から思うと夢のようなことばかりである。たとえば工場の立っているところは【次頁下段△へ】

『50周年記念誌より』
機械科施設の変遷と思い出

旧職員(機械)全 鈴木 信也

旧機械工場は、木造の天井に長い動力伝達主軸が取り付けられ、モーターとベルトで、ガタンコ・ガタンコと回っていた。この主軸にそって配置されていた各工作機械は、中間軸・段車などをへて運転されていたのでベルトが外れると、一斉に機械がストップしてしまいう有様だった。

昭和36年、木造を取り壊し鉄筋の3階建とし、1階を現・エンジン整備・性能試験室とした。機械工場は、隣の現在の場所に入替移し、設備を一新した。

昭和43年、隣接の民有地を買収し、一連の増築工事が、毎年続いた。まず、45年に1階の自動車シャシ整備室と2階の一部金相室。次の46年に2階の残り自動車電装と水力実験室。さらに47年に3・4階の電気実習室が出来上がった。既存のものと一緒に合わせたため廊下に段差があり、階段もまぎらわしいものとなっている。

昭和48年、古い教室を精密工作室・材料試験室に転用するため内部を改造し、数値制御フライス盤や引

張試験機を設置することになった。

しかし、床下は、身長以上の深さの空洞になっているし、床そのものも弱いので、重量物を支えきれない。試験片の破断のときの衝撃にも耐えられない。その上、教室の入口が狭くて機械の搬入ができない。そこで、床下にもぐって地盤をしらべ、いろいろな方策を考え、悩んだことなど、忘れようにも忘れられない。既存のものを生かし利用することのむずかしさを、いやというほど味わされた。

昭和44年頃までは、学校祭のとき、機械のほとんどの実験・実習室の開放を行った。希望と割当の生徒で、準備や当日の演出などよくやったものだ。それが、昭和43年頃の全国的学園紛争を転機に、割当によるおしきせの学校開放はいやだ、生徒自らの発想と創意のものをやりたいと変わってきた。規模は、縮小せざるを得ないが、生徒は、政策・実験の実演、作品の展示、原理の解説説明にいっききとよるこびを見出して居た。2日間つきつきりそれで当たった者もいたようだ。自発性・自主性にもとづくものの素晴らしさを知った。

『50周年記念誌より』
コンピュータ雑感

旧職員(電子)全 長岡 美穂

私は昭和53年から12年間電子科に在職いたしました。着任した当時は日本語のワープロや8ビットのパソコンにしても非常に高価なものでした。また、工業高校にミニコンピユーターが設置されて6、7年たった頃でした。

ミニコンはFORTRAN言語でのプログラム実習をしていました。ミニコンはメモリの容量が少ないため、コンパイラ、中間言語、実行とシステムを入れ換えなければなりません。そのため生徒の進行状況によりシステムを何回も入れ換えることになり、忙しかったことを思い出します。紙テープで入力するので、ミスタイプしたときのテープ修正などで、紙テープのパンチを読めるようになりました。それにしても今思うと、よくあんな面倒なことができたと思います。

3年後くらいに8ビットパソコンを導入でき、言語はBASICになりました。生徒はミニコンに比べプログラムの実行までの時間の早さにびっくりしていました。ミニコンでは1日1課題であった実習が2課題、3課題もできるようになり、私の方は課題をつくるのが大変になりました。ただ2人で1台でしたので、数年後に中古のパソコンを購入して1人1台にできました。【下段※へ】

▽空地だったがこれを買収するのがずいぶん難行し、ようやく学校用地となつてからはバレーコートになり、ここで体操の授業を受けたりしたものだ。わが港工高が、今後さらに大いなる発展をとげることを、卒業生の一人として心からいってやまない。



※60年頃に各工業高校にパソコン40台がレンタルで設置されるようになり、港工でも2年目に導入され、各科で共同で使用するようになりました。16ビットパソコンで言語、ワープロなどいろいろなソフトもレンタルできました。生徒はディスプレイもカラーに、ワープロでは漢字が変換できることに感心していました。パソコンが5年ごとに更新できることはとても良いことでした。

電子科ではミニコンが更新できることになり汎用コンピュータとワークステーション14台でネットワークを組んだ組織が導入されました。出力装置としてラインプリンタ、X-Yプロッタなどが設置され、言語、ワープロだけでなくデータ転送、製図などが実習できるようになりました。

ミニコンの10年、その後の10年でこの進歩を比べてみるとただ感心するばかりです。

事務局からお知らせ

◎会則改定による賛助金のお願い

平成20年度の総会案内及び会報は、全員(住所判明者約5,300部)に送付しました。賛助金は593名の方に送金戴き、前年比98%でほぼ同じでした。

前年と同程度の賛助金につき、本年度も12ページの会報を全員に発送出来ることになりました。

同窓会の収入は会員の賛助金のみです。会報継続のため皆様のご理解をお願いします。

郵政民営化により振込手数料(同窓会で負担)が高くなりました。

窓口振込 70円→120円

ATM機 60円→80円

※郵便局のATMを使えば、

①土曜・日曜も振込出来ます。

②同封の振込用紙をそのまま機械に挿入し、金額のみ押せばOKです。

③窓口より待ち時間が早いです。

◎総会会費の事前振込みをお願い。

受付での現金授受混乱回避等ご理解ご協力をお願いします。

賛助金振込み用紙を使用し、金額欄の2,000円を12,000円(賛助金+臨時会費)にすればOKです。

◎卒業生への諸証明発行について

都立港工業高等学校の閉校に伴い卒業生への諸証明の発行事務は都立六郷工科高等学校において受け付けています。

〒144-8506

大田区東六郷2-18-2

京浜急行「雑色」下車

国道沿い徒歩3分

TEL 03-3737-6565

ご不明の点につきましては、

東京都教育庁高等学校課

TEL 03-5321-1111

へお問い合わせ下さい。

◎会員数の把握

H21.3月現在

区分	在籍数	確認数(亡)
正会員	高輪一本	771 (79)
	高輪二本	768 (79)
	麻布一本	485 (121)
	港・定	3,866 (69)
	港・全	9,773 (206)
計	15,663	4,796 (554)
特別会員	旧校長	15 (8)
	旧職員	626 (120)
	計	641 (128)

平成20年度の収支状況

前期繰越額	2,877,414.-
収入の部	1,772,049.-
臨時会費	548,000.-
賛助金 593名	1,186,000.-
寄付その他	38,049.-
支出の部	1,645,899.-
総会費 58名	592,442.-
通信費	532,870.-
広報費	333,387.-
文化祭費	5,368.-
事務その他	181,832.-
次期繰越額	3,003,564.-

同窓会会務の連絡先について

住所変更の連絡、名簿内容の質問、同窓会ニュースへの寄稿、クラス会他近況等々は下記事務局へお願いします。

記

〒278-0036 千葉県野田市中野台鹿島町23-7
(株)クリーンジャパン内
港工同窓会 松岡 信之(会計理事・港16期A)

TEL 04-7125-6808 FAX 04-7125-6851
E-mail: matsuoka@minatokou.net

◇編集後記

「港工ニュース」第8号も六郷工科高等学校の高橋徹先生をはじめ会役員・恩師・同窓生の方々多数のご協力とご支援のお陰をもちまして発行できました。心より厚く御礼申し上げます。

昨年は返信はがきでの想い出等が多数寄せられたのに、秋の臨時号が出せず、今回全てを掲載できませんでした。今年の秋には臨時号を発行(賛助金納入実績の方のみ)して紹介したいと思えます。

同窓会再興20周年の六郷祭には、顧問の高橋光春先生が元氣な姿でお見えになり、激励を賜りました。皆様のご要望があるかぎり、微力ながら継続の努力をする所存です。

編集者一同

※創立20周年記念誌(昭和41年)、50周年記念誌(平成8年)の寄稿文を順次掲載する予定です。※本誌をご希望の方は閉校記誌(平成16年)を含め、在庫が有りますので一報下さい。なお、秋の六郷祭(11月14、15日)の同窓会ブースでも展示する予定です。